

## 『吾輩は猫である』娘たちの名前

*Junko Higasa 2014.3.8*

珍野苦沙弥先生には娘が三人いる。「とん子・すん子・めん子」という名前だ。これはきっと単位であろうと考えて、その共通性にたどり着いた。

[とん子=屯子]

屯は真綿の質量・取引単位。1屯=40匁で計算すると、1匁=3.75g×40=150g 真綿とは絹の一種で、木綿生産が始まるまで「綿」と呼ばれていた。

[すん子=寸子]

寸は木綿繊維の長さ。1寸=1/33m=3.03cm これは貿易における木綿繊維の平均的長さ(2.2~3.3cm)の範疇である。

[めん子=綿子]

木綿生地。先の質量と寸法によって取引された材料が木綿という生地になり、製品化される。

以上のように、娘たちの名前に日本の繊維産業の変遷が見て取れる。古来日本の交易品であった真綿は、江戸時代の木綿普及によって衰退した。また英国では毛織物に換わり綿製品が台頭、産業革命によって需要急増—機械開発で生産性向上—鉄道・船舶発展で貿易拡大した。この日英の繊維産業の変遷は『虞美人草』の保津川下りと座布団に見て取れる。